

岡崎市議会議長 様

支出番号	
------	--

会派名	チャレンジ岡崎
代表者名	小田 高之

下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政 務 活 動 旅 行 報 告 書

令和7年 02月 12 日提出

活動年月日	令和 7 年 02 月 05 日（水）～令和 7 年 02 月 07 日（金）	
氏名	小田 高之、杉山 智騎	
用務先 及び 内 容	1 02月05日	用務先 佐賀県 佐賀市
		内 容 佐賀市公式スーパーアプリについて
	2 02月06日	用務先 福岡県 糸島市
		内 容 JA糸島産直市場 伊都菜彩について
	3 02月07日	用務先 山口県 周南市
		内 容 徳山駅周辺官民連携管理運営事業について
	4	用務先
		内 容
備 考		

令和 6 年度 行政視察報告書

令和 7 年 2 月 12 日 (水)
チャレンジ岡崎 小田 高之
杉山 智騎

1. 視察日程

令和 7 年 2 月 5 日 (水) ～ 2 月 7 日 (金)

2. 視察先及び視察内容

- (1) 佐賀県佐賀市
佐賀市公式スーパーアプリについて
- (2) 福岡県糸島市
JA 糸島産直市場 伊都菜彩について
- (3) 山口県周南市
徳山駅周辺官民連携管理運営事業について

3. 視察内容

■視察先：佐賀県佐賀市

2 月 5 日 (水) 14:30～

佐賀市公式スーパーアプリについて

1. DX の 3 つの段階

- 1 デジタイゼーション (Digitization)
アナログ情報をデジタルに「変換」すること
- 2 デジタライゼーション (Digitalization)
デジタル情報を活用して業務プロセスを「改善」すること
- 3 デジタルトランスフォーメーション (DX)
ビジネスモデルやサービスを「変革」することで新しい価値を創造すること

2. スマート・ローカル！SAGACITY (令和 4 年 7 月)

スマートシティ実現のための重点分野と重点取組

～デジタルが充実している田舎に住むこと いま、いちばん“かしこい”住スタイル

2.1 市民サービス DX

◎パソコン・スマホでオンライン申請

◎佐賀市公式スーパーアプリの構築

2.2 防災 DX

- ◎災害・防災情報のデジタル化
- ◎ドローン・スマホを活用した災害復旧

2.3 子育て・教育 DX

- ◎子育て情報・教育現場のデジタル化・オンライン化
- ◎位置情報システム等を活用した見守り

2.4 産業 DX

- ◎ICT を活用した経済 DX
- ◎AI・IoT 等を活用したスマート農林水産業



3. DX 推進体制 ～DX 推進員～

3.1 設置目的

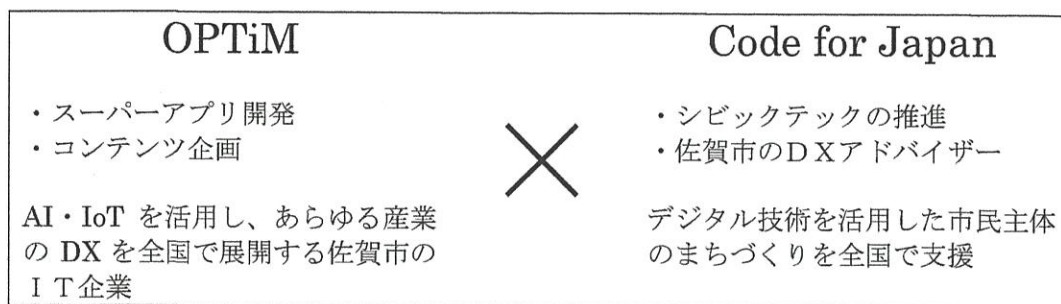
- ◎職員が自主的に DX に取り組むようにするため、各部署に 1 名以上 DX 推進員を配置
- ◎DX 推進事務局から情報提供及び教育を実施
- ◎研修等で得た知識・情報を部署内へ周知・伝達

3.2 効果

各研修のほかにも、業務システム（AI 議事録、GIS 等）の操作研修にも DX 推進員を派遣することで、今まで業務システムの活用がされていなかった部署の利用が増えてきている。

WEB
① すべての情報を網羅
② スマホを所有していなくても閲覧できる
③ フロント（市民との接点）は、LINE など自由に選択できる
④ すでに確立された技術がたくさんある
LINE
① ユーザーが多く、使いやすい
② チャットでのやり取りがスムーズ
③ リッチメニューで他分野、多機能にできる
④ 自治体は 1 アカウントは無料
⑤ リッチメニューを提供している事業者が多い
スーパーアプリ
① プッシュ通知でお知らせ
② ワン・ツータップの UI/UX（快適な操作性）
③ 自由度が高い開発が可能
④ ミニアプリで他分野、多機能にできる
⑤ 分野別、ミニアプリ毎に通知の ON・OFF ができる
⑥ 既存の民間アプリのミニアプリ化が可能 （WEB リンク、ディープリンク、サインオン、API 等）
⑦ ミニアプリ間の連携ができる
⑧ 職員側の受付（二次元コード等）もミニアプリ化
⑨ データ利活用、分析ができる

4. DX 推進・スマートシティ実現のための強力なパートナー



5. 佐賀市公式スーパーアプリ ～主な機能の紹介～

- ✓ごみカレンダーミニアプリ（ごみの収集日をお知らせ）
- ✓本の貸出状況の確認や予約（市立図書館）
- ✓市役所に行かずに電子申請
- ✓災害・防災ミニアプリ（防災情報を素早く確認）
- ✓イベントに参加しようミニアプリ
- ✓地域共助ミニアプリ
- ✓学校出欠連絡ミニアプリ
- ✓デジタル市民証



※佐賀市公式スーパーアプリは

未来をつなぐ 佐賀市発・日本初 みんなの共通プラットフォーム

6. 利用者の推移

1 か月で2万 DL 突破

1 4 か月で5万 DL 突破

令和7年1月末時点で約6万4000DL

7. 今後の展開

- 他自治体でも利用可能な共通プラットフォームアプリに進化
 - ✓同居可能な基板上に複数自治体がアプリを構築
 - ✓共同利用によるイニシャルコスト、ランニングコストの削減
 - ✓共通プラットフォームによる機能共有及び持続可能な運用

8. 所感・岡崎市への提言

【小田 高之】

佐賀市は、住民・地域・企業・行政が連携して「佐賀市公式スーパーアプリ」を開発し、2023年6月に本格稼働させました。このアプリは、防災情報の迅速な提供、行政手続きのオンライン化、地域経済の活性化などを目的とし、26種類のミニアプリを搭載しています。また、デジタル市民証の導入によ

り、避難所の受付がスムーズになり、自治体業務の効率化が進みました。さらに、学校の出欠連絡やごみ収集日の通知、地域イベントの案内など、住民の生活利便性を向上させる機能も充実。地域経済の活性化を目的とした電子地域振興券との連携も行い、キャッシュレス決済を促進しています。本市においても、情報を利用することで、住民・地域・企業・行政がどう連携することができるのか。それを目的として最善の手を構築することを期待します。

【杉山 智騎】

現在、本市には公式ライン、防災ポータル、HP、まめぼ、おでかけナビなど、多数のアプリなどが運用されている。これが一つにまとまったら、どれだけ便利になるかとずっと思っていた。それを実現したのが、佐賀市が導入したスーパーアプリである。これは一つのアプリをインストールするだけで、様々な機能を利用することができる。特に便利なのが、学校出欠連絡アプリや防災アプリが導入されていること。拡充機能として幼稚園・保育園、高校の出欠も追加したいところ。そして、今開発中とのことであった施設の予約から支払い（カードや paypay 等）まで完了すると利便性は各段にあがる。そして、デジタル市民証は素晴らしいと感じた。このデジタル市民証があることで災害時の避難所での受付や行政窓口での受付など活躍する場面は無限大である。最大のメリットはアプリ保持者に通知ができることである。有事の際、緊急連絡をしたり、地域別のアンケートを実施したりすることもでき、行政側にとってもメリットの大きいものとなる。共通プラットフォームとなったことでコスト面でも検討しやすいものとなっているので、本市としても導入を早急にしていただくことを強く要望する。

■視察先：福岡県糸島市

2月6日（木） 10:00～ （現地視察）

JA 糸島産直市場 伊都菜彩について

1. JA 糸島の概要（令和5年度末）

1.1 JA 糸島の構成

JA 糸島の職員数は	約 302 名（正職員 178 名）
正組合員	5,200 名
准組合員	11,234 名
組合員数合計	16,434 名
R5 年度農産物販売額	106 億 1 千万円
（内 伊都菜彩売上 38 億 6 千万円※税抜金額）	

1.2 主な農産物

施設野菜：苺（あまおう）、礫耕トマト、胡瓜、アスパラ等

露地野菜：ブロッコリー、キャベツ、大根等

果物：柑橘系（温州、中晩柑）、ぶどう、無花果、柿等

花卉：菊、洋ラン（胡蝶蘭、シンビジウム、デンファレ）、草花、花木



糸島米、糸島牛、糸島豚も有名

1.3 海産物

年間 1,000 トンの水揚げの天然鯛、糸島冬の名物 殻付き牡蠣が有名

※加工品出荷者が趣向を凝らした弁当、お菓子も多数品揃えされ、伊都菜彩に来れば、何でも揃うという
ことで、お隣の福岡市（人口 165 万人）からの来店客が多い

2. 伊都菜彩概要

住所：福岡県糸島市波多江 567-1

開店：平成 19 年 4 月 19 日

規模 敷地面積：19,653 m²

建物面積：3,513 m²（内 売場面積 1,506 m²）

駐車台数：420 台

付帯設備：まるいとうどんコーナー

営業日：正月（1/1～3）を除き年中無休

営業時間：9:00～18:00

搬入時間：5:30～16:00



3. 伊都菜彩の目指す役割と JA 糸島のファンづくり

- 高齢化する農家組合員や女性の担い手が活躍できる場
- 糸島地区内の「食」に携わる産業者が連携し、地産地消の拠点としての場
- 中間流通コストを可能な限り削減し、農業所得向上を図れる場
- 共販品の規格外の有利販売により、農業所得向上を図れる場
- JA の共販から離れた組合員を再び販売事業に集結させる場

4. 伊都菜彩ポイントサービス

ポイントカード会員 41,054 人（R6.3 月末）

ポイントサービス

毎週月曜日 全商品ポイント 5 倍、毎週火曜日 米商品ポイント 5 倍

毎月 29 日 肉・玉子商品ポイント 5 倍、31 日のみ全商品ポイント 10 倍

5. 伊都菜彩の組織体制

正組合員：968 名

准組合員：168 名

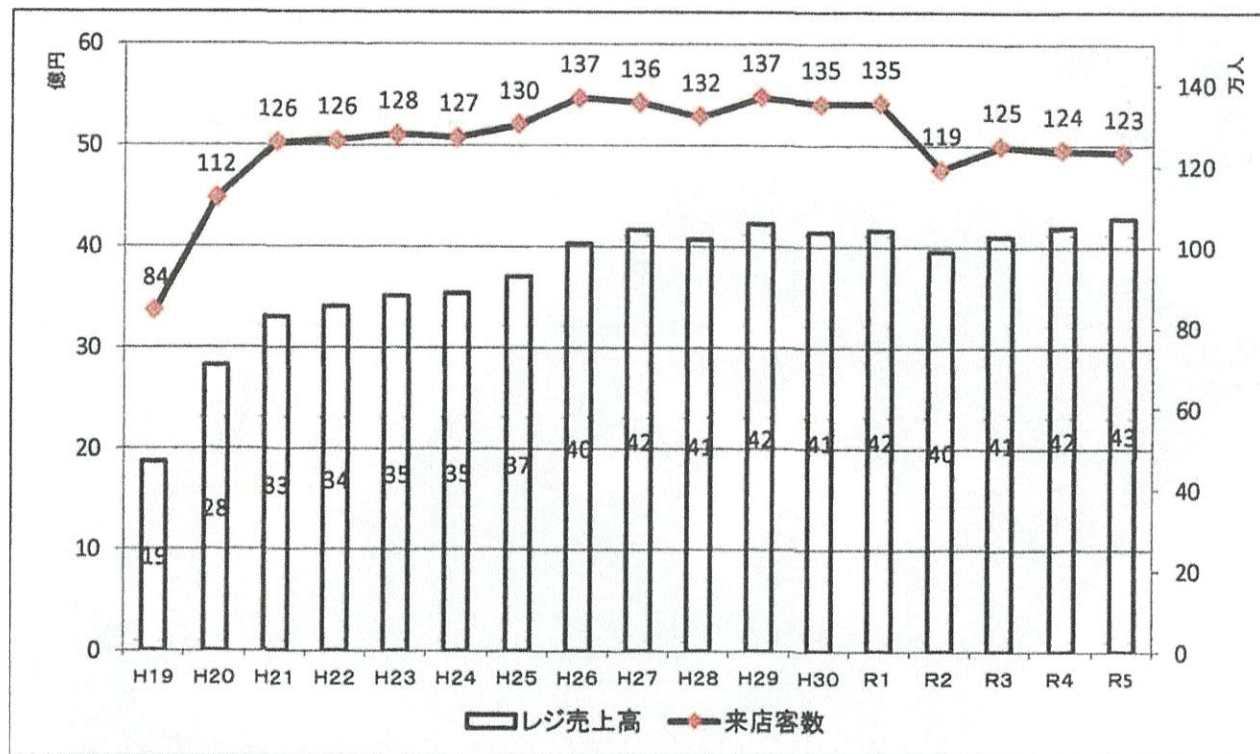
JF 組合員：154 名

部会等：236 名 出荷会員計：1,526 名

出荷者協議会加入（入会金：2,000 円、年会費：1,000 円）

販売手数料：農畜水産物 15%、加工品・民芸品 20%

6. 売上高・来店客数の推移 レジ売上高



7. 伊都菜彩の6次化商品

鯛だしまるいとちゃんぽん、ピザ、伊都ごぼりん、げなソース、甘夏缶詰、糸島牛カレー、
トマトケチャップ、甘夏サイダー、甘夏・清見ジュース、まるいとラーメン、まるいとソーメン

8. 所感・岡崎市への提言

【小田 高之】

JA 糸島が運営する農畜産物直売所「伊都菜彩」は、週末約 5000 人、平日約 3000 人が訪れ、2023 年には累計来店者数 2000 万人を突破しました。地元産農畜産物の販売に特化し、97%が糸島産である点
が特徴です。2020 年度の JA ファーマーズマーケットの売上高で全国 1 位となり、ピーク時の 2017 年
度には 42 億円を記録しました。商圏は糸島市と福岡市で、来店客の 7 割以上が市外から訪れるとのこ
とです。

立地選定では、福岡市から 30 分以内の幹線道路沿いを重視したとのこと。「地産地消」「国消国産」の
拠点として、安定経営を図っています。また消費者の購買意欲を高めるため、生産者自らが値付けを行
い、品質重視の販売戦略を採用しおてり、生産者の名前を前面に出し、リピーター獲得を促進していま
す。店内には生産者直筆のポップが並び、ファンが特定の生産者の商品を求めて開店前から並ぶことも
あります。

JA 糸島は出荷者支援として、販売データ提供や価格目安の掲示を実施しています。さらに野菜ソムリエによるレシピ提案や相談対応、料理教室などのイベントで顧客満足度向上を図っています。こうした支援を通じて、糸島の農業振興と地域活性化に貢献しています。

本市においても間接的にはありますが、より一層の生産者支援、直売所支援をすることで、持続可能性を担保されることを望みます。

【杉山 智騎】

人口 165 万人の福岡市からの来店客が多く、視察中も多くの来店があり勢いを感じた。視察当日は雪が降っていたという理由もあり、通常の半分くらいの入り込み客数とのこと。出店者には1日数回の販売メールが届き、そのメール内容により店頭での在庫状況が把握でき、追加陳列など行う。伊都菜彩は糸島市内の13の小・中学校へ食材提供して地場産率の向上にも努めている。福岡市に対して広告を行ったりしていないが、口コミで利用者が増えている。更なる売上向上のため、Instagram を始めたり、動画撮影などを行い PR 活動強化を図っている。本市にも農遊館、ふれあいドームなどがあるが売上の伸び悩みがあったり、建て替えなどの課題もある。他市の産直市場の立地条件、建物の構造、品数、広報の仕方など学び、改善する必要がある。全国有数の売上高を出している伊都菜彩の真似できるところは、しっかりと取り入れて、売上高、来客数向上を目指していただきたい。

■視察先：山口県周南市

2月7日（金） 10:00～

徳山駅周辺官民連携管理運営事業について

1. 山口県周南市の特徴

周南市は山口県東部に位置し、北には中国山地、南には瀬戸内海を臨む自然豊かな地域である。市の面積は 656.29 平方キロメートルで、その約 8 割が森林で占められている。また、臨海部には日本有数の石油化学コンビナートが広がり、工業都市としての側面も強い。

周南市の中心駅である徳山駅は、広島県や福岡県とのアクセスが良好であり、山陽新幹線、JR 山陽本線が乗り入れている。駅周辺は市の玄関口として、商業・交通の拠点であり、再開発が進められている。

2. 徳山駅周辺開発の過去と現在

徳山駅周辺の開発は、長年にわたり段階的に進められてきた。かつての駅周辺は、交通結節点としての役割を果たしながらも、老朽化した施設や商業の衰退が進行し、市街地の活性化が課題となっていた。2000 年代以降、市の施策として中心



市街地の再開発が推進され、徳山駅の南北自由通路や駅前広場の整備が進められた。

2010年代に入ると、都市機能の集約や交通結節点としての強化が重要視され、徳山駅周辺整備事業が本格化した。駅前広場の再編や駐車場の整備に加え、駅前商業施設の充実が図られ、都市の魅力向上が進められた。現在では、さらなる公共空間の有効活用を目的とした官民連携の取り組みが進んでおり、賑わいの創出を目的としたイベントの開催や、新たな利便性向上策が導入されている。



3. 徳山駅周辺官民連携管理運営事業について

3.1 事業概要

- 事業期間：2023年4月1日～2028年3月31日（5年間）
- 対象施設：駅前広場、南北自由通路、駐車場、公園、道路など計19施設
- 事業者：周南ツナガルコンソーシアム（野村緑建株式会社、トラストパーク株式会社、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社）
- 事業方式：包括的業務委託・指定管理業務

3.2 事業目的

- 公共施設を面的に捉え、民間のノウハウを活用することで効率的かつ効果的な管理運営を実施
- 徳山駅周辺エリアの公共空間の上質化を図り、市民の賑わいを創出
- 公共施設の維持管理を通じた都市の魅力向上

3.3 事業内容

- 包括的業務委託：施設保守、清掃、巡回管理、植栽管理など
- 指定管理業務（駐車場管理）：徳山駅西駐車場・徳山駅前駐車場・熊毛インター前駐車場
- 指定管理業務（駅前広場・公園管理）：徳山駅北口・南口広場、代々木公園、若葉公園など
- 自主事業：地域活性化イベントの開催など

4. 事業の特徴

4.1 官民連携による包括的管理

本事業は、19の公共施設を一括して民間事業者へ管理委託する「包括的業務委託」と「指定管理業務」を組み合わせた形態である。これにより、個別管理ではなく統合的な運営が可能となり、効率化とサービス向上が期待される。

4.2 性能発注方式の導入

従来の仕様発注型ではなく、一定の性能水準を満たせば柔軟な運営が可能な「性能発注方式」が採用されている。これにより、民間事業者の創意工夫を生かした施設運営が促される。

4.3 公共空間の活用

単なる施設管理に留まらず、公共空間の有効活用を進める点が特徴である。例えば、駅前広場ではイベントの開催を促進し、民間事業者との連携による賑わい創出が図られる。

4.4 地域との協働

事業の実施にあたり、地域住民や企業、行政が一体となった協働の仕組みが求められている。特に、地域イベントの開催や公共空間の利用促進において、民間と市民の協力が重要視されている。

5. 所感・岡崎市への提言

【小田 高之】

徳山駅周辺官民連携管理運営事業は、従来の行政主導の公共施設管理から一歩進んだ取り組みであり、民間のノウハウを最大限に活かすモデルケースとなる可能性を秘めています。性能発注方式や包括的管理といった特徴は、効率的かつ柔軟な運営を可能にし、今後の自治体運営の一つの指標となると考えます。

一方で、事業の継続性や透明性の確保が課題です。特に、受託者の管理能力や事業運営の評価体制については、市民の視点に立ったモニタリングが必要となります。また、地域との連携を強化し、持続可能な都市開発を目指すことが今後の成功の鍵となるはずです。

本市における公民連携事業においても同様の課題を抱えています。特に透明性とモニタリングについては、スキームが複雑であることから今後も市民のためにそれらを担保する改善に努めていただきたい。

【杉山 智騎】

PPP（官民連携）にて、公園、駐車場、駅の自由通路、道路（街路樹）、駐輪場、駅前広場などの有効活用の検討をおこない、適正な管理をし、賑わいの創出などに取り組んでいる。民間事業者のノウハウを活かすことに力を入れており、これからが非常に楽しい事業であると感じた。すばらしい駅舎、駅前広場、道幅の広い御幸通、アーケード街などは可能性に満ちた空間であった。本市に関しては、今まさに東岡崎駅の改築が進んでおり、駅周辺の魅力向上についても同時に進めていかないといけない課題である。駅周辺住民や店舗だけでなく、様々な人を巻き込んで本市の価値を高めていくことを真剣に考えていただきたい。